

令和二年 12 月 2 日

山口県体育学会関係各位

理事長 杉浦 崇夫

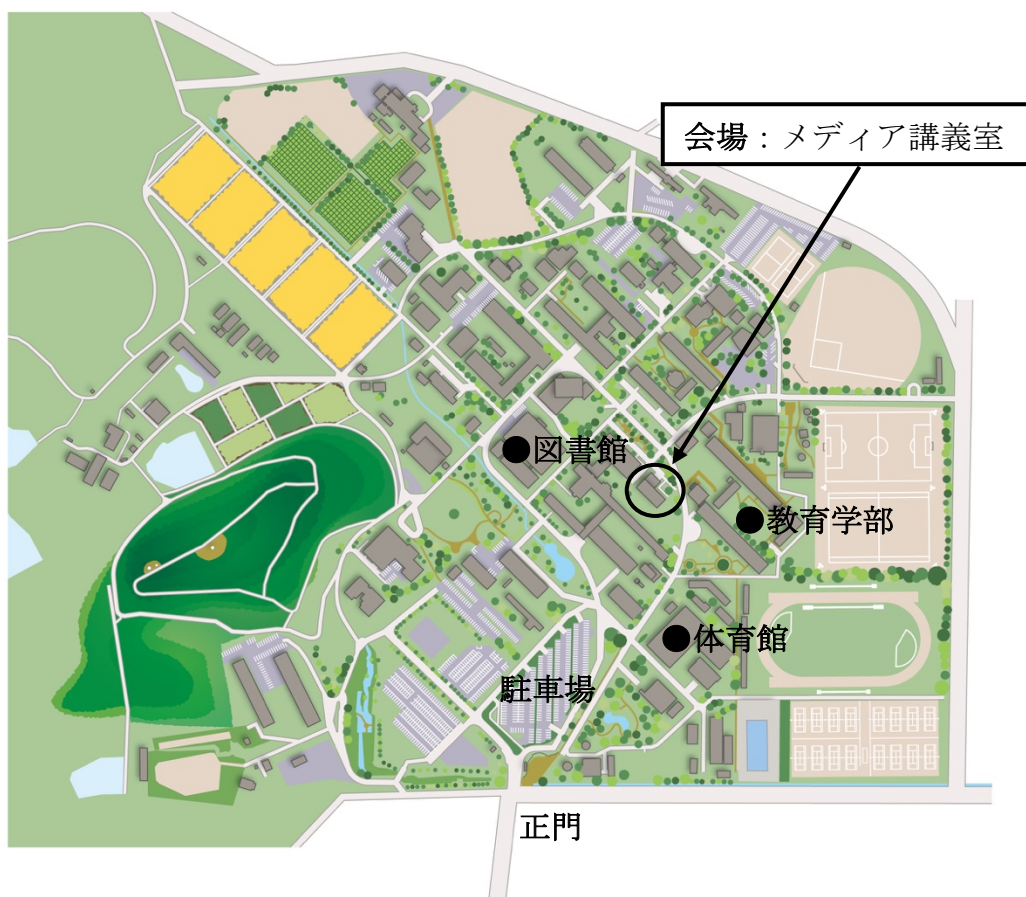
# 山口県体育学会第 65 回大会

## ご案内

時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より本学会の発展につきまして、御高配賜わり誠にありがとうございます。  
さて、標記大会を下記の要領にて開催いたします。  
多忙の折りとは存じますが、是非、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

## 記

- 日時： 令和二年 12 月 12 日(土)  
9:30～ (受付 9:00～)  
場所： 山口大学 メディア講義室  
(〒753-8513 山口市吉田 1677-1)  
主催： 山口県体育学会  
(ホームページ：<http://www.yamaguchi-taiiku.jp/index.html>)  
後援： 山口大学教育学部



## — 大会プログラム —

受付 9:00～

開会の辞 9:30～9:35

### I. 一般研究発表(発表9分・質疑3分)

座長 丹 信介 (山口大学教育学部)

9:36～9:48

#### 1. 若年女性における4週間の歩行運動介入による冷え症状の緩和効果

山崎 文夫・荒木 優芽・宅野 清夏・濱田 歩花(山口県立大学)

日常における体の冷えは女性に多い不定愁訴の1つである。冷えの改善の方策には、多機能食品の摂取やマッサージ等が提案されているが、運動の効果については不明な点が多い。本研究では、4週間にわたる歩行運動介入による冷え症状の緩和効果とその効果の生理的要因について検討した。冷え症の自覚のある若年女性を運動群と対照群に分け、運動群の被験者には介入前よりも1日に平均で3000歩以上多く歩くよう依頼し、対照群の被験者には普段通りの生活を続けさせた。その結果、4週間の歩行運動介入により四肢末梢部の冷えは緩和し、その効果は同一体温における冷覚感受性の低下によってもたらされることが示唆された。

キーワード:冷覚、代謝、皮膚温

9:49～10:01

#### 2. 体育授業がその後の授業時の集中力および実行機能に及ぼす影響に関する検討

曾根涼子(山口大学)、大下凌矢(山口大学)、古川礼乃(山口大学)、高木菜満恵(山口大学教育学部附属光中学校)、丹 信介(山口大学)

低・中強度の比較的短時間の持続的運動を行うことによって、集中や落ち着きを維持する脳の実行機能は高まることが報告されている。本研究では、学校体育でも実行機能が高まるのではないかと考え、中学1年生を対象として、1限目に体育授業(体づくり運動)を行った後の授業時の集中力や実行機能の変化について検討した。その結果、低・中強度の運動が20分間前後含まれる体育授業を1限目に行うと、その後、主観的疲労感は低くなり、実行機能は高くなることが示唆された。また、実行機能および授業集中力はいずれも主観的疲労感の影響を受ける傾向があることが示された。

キーワード:体育授業、集中力、実行機能

座長 上地 広昭 (山口大学教育学部)

10:02～10:14

#### 3. 小学校における手作りオリンピックの計画と実施 ～KISAN2020～

斉藤 雅記(山口大学)、辻 伸也(周南市立岐山小学校)

2020年はオリンピック・パラリンピックの年とされていましたが、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。それと同じく、日本中の小学校で運動会が中止・延期となりました。そのような状況の中、オリパラ教育を軸として、6年生が主体となって作り上げる運動会を実施しました。手作りオリンピック「KISAN2020」の実践について報告するとともに、その中で出てきた子どもたちの学びについても報告する。

キーワード:運動会、オリパラ教育

10:15～10:27

#### 4. CLILの視点を取り入れた英語による体育実技授業の試み(4)

—英語を使用したパラスポーツの授業を事例として—

伊藤 耕作(宇部工業高等専門学校)、二五 義博(海上保安大学校)

現在日本では、外国語の効果的な習得方法の1つとして、CLIL(内容言語統合型学習)が注

目されつつある。CLIL とは「内容と言語」の同時取得に加え、「思考」や「協学」の要素も取り入れた、より質の高い学びを目指す学習者中心の指導方法のことである。他教科内容との組合せとしては、英語と算数、理科や社会とは既に実践例があるが、実技教科、とりわけ、体育を事例とした研究はまだ少ない。そのような中、伊藤・二五は、サッカー(2017)、バレーボール(2018)、バスケットボール(2019)を事例として取り上げ、主に CLIL の 4C の視点からの分析により、体育と英語の教科横断的授業による利点や課題を明らかにしてきた。本発表はその第 4 弾として、パラスポーツ(ボイスパスゴール)の内容を英語で学ぶことが、内容への動機づけ、コミュニケーション能力育成、思考や協同学習の視点でいかなる効果があるかを探る。

キーワード:教科横断的授業、CLIL、パラスポーツ

10:28～10:40

## 5. 明治期の学生スポーツにおけるフェアな態度の認識に関する研究

船場 大資 (山口芸術短期大学)

明治期に西欧スポーツが日本に流入すると同時にスポーツ規範も普及し始めた。その中で、スポーツの担い手が当時の高校生や大学生であった。彼らは、スポーツ規範を武士道と呼称しながら西欧流のスポーツ規範を実践していた。一方で、実際の武士の教養には、勝つためには狡猾さも重要であった。そうした意味では、明治期に誕生したスポーツ規範の武士道とは、西欧のスポーツ規範の影響が色濃いものであった。しかしながら、実際には、フェアな態度と勝敗観をめぐるスポーツトラブルが起きていた。彼らがどのようにしてスポーツのフェアな態度を培ったのかを学生スポーツの実例や議論から検証する。

キーワード:スポーツ規範、明治期の学生スポーツ

## II. 講演会

座長 藤田 昌彦 (周南市立菊川中学校)

11:00～11:40

### 「今後の学校体育の在り方について」

山口県教育庁学校安全・体育課指導主事 田中 大輔 氏

学校現場では、今般のコロナ禍において、子どもたちの安全を第一に考え、単元計画の見直しや実施方法の工夫など、感染状況を踏まえた慎重な取組がなされている。一方で、年度当初の臨時休業の影響もあり、子どもたちの体力の低下が懸念されている。今後の学校体育は、子どもたちの運動習慣の改善・定着や体力向上に向けて、感染防止に努めつつ、様々な課題に対応していかなければならない。資質能力をバランスよく育む授業づくりや ICT の活用など、引き続き授業改善を進めていくとともに、この機会に子どもたちの学びの新たな可能性を探ることも大切である。こうした状況を踏まえ、現在の取組について整理するとともに、今後の学校体育の在り方について考えていく。

座長 岡野 亮介 (至誠館大学)

11:45～12:45

### 「熱刺激ならびに抗酸化食摂取が骨格筋肥大や萎縮に及ぼす影響」

山口県体育学会理事長 (山口大学教授) 杉浦 崇夫 氏

骨格筋は、適応性に富む組織である。例えばレジスタンストレーニングにより骨格筋は

肥大するのに対し、ギプス固定やベッドレストなどの不動化や不活動により容易に萎縮する。このような変化は、筋タンパク合成と分解のバランスによりもたらされる。筋タンパク合成に関わる細胞内情報伝達経路として Akt-mTOR 系があり、運動などの刺激により活性化しリボソームでの翻訳を促進する。これに対し、筋タンパク分解にはリソソーム系、カルパイン系などの細胞内情報伝達経路に加え筋核アポトーシスが関与し、酸化ストレスにより筋萎縮が促進することがわかっている。

我々はこれまで、熱ストレスや抗酸化剤摂取により筋タンパク合成系が促進し分解系が抑制することを報告してきた。本講演では、加齢性筋減弱症の予防という観点も含めこれまでの報告を紹介する。

### III. 総会 12:50～

#### 報告事項

1. 令和元(2019)年度会計報告
2. 令和二(2020)年度事業および会計経過報告
3. 令和二(2020)年度日本体育学会報告
4. その他

#### 協議事項

1. 令和3(2021)年度事業計画について
2. 令和3(2021)年度会計予算について

以上

#### 【 演者の方へ 】

- パワーポイントを使って発表される演者の方は、PC(OS: Windows)とプロジェクターをこちらで用意いたします。ただし、ソフトは、PowerPoint 2016 ですのでご注意ください。
- プリントを配布される方は、資料を 30 部ほど各自でご用意ください。
- これら以外の方法で発表される方は、事務局までご連絡ください。

#### 【 参加者の皆様へ 】

- 大会参加費は、無料です。
- 山口県体育学会会員の方は、年会費(¥2,000)の納入をお願いします。
- 本学会への入会を希望される方は、ホームページの「入会案内」をご覧ください。

#### 【 お知らせ 】

『山口県体育学研究』第 64 号への投稿を募集しています。  
なお、投稿についての詳細は、『山口県体育学研究』の「投稿規定」をご覧ください。

投稿申し込み期限：令和 3 年 3 月末日

\*\*\*山口県体育学会事務局\*\*\*  
〒753-8513 山口市吉田 1677-1  
山口大学教育学部曾根研究室  
電話・FAX:083-933-5389  
E-mail:sone@yamaguchi-u.ac.jp